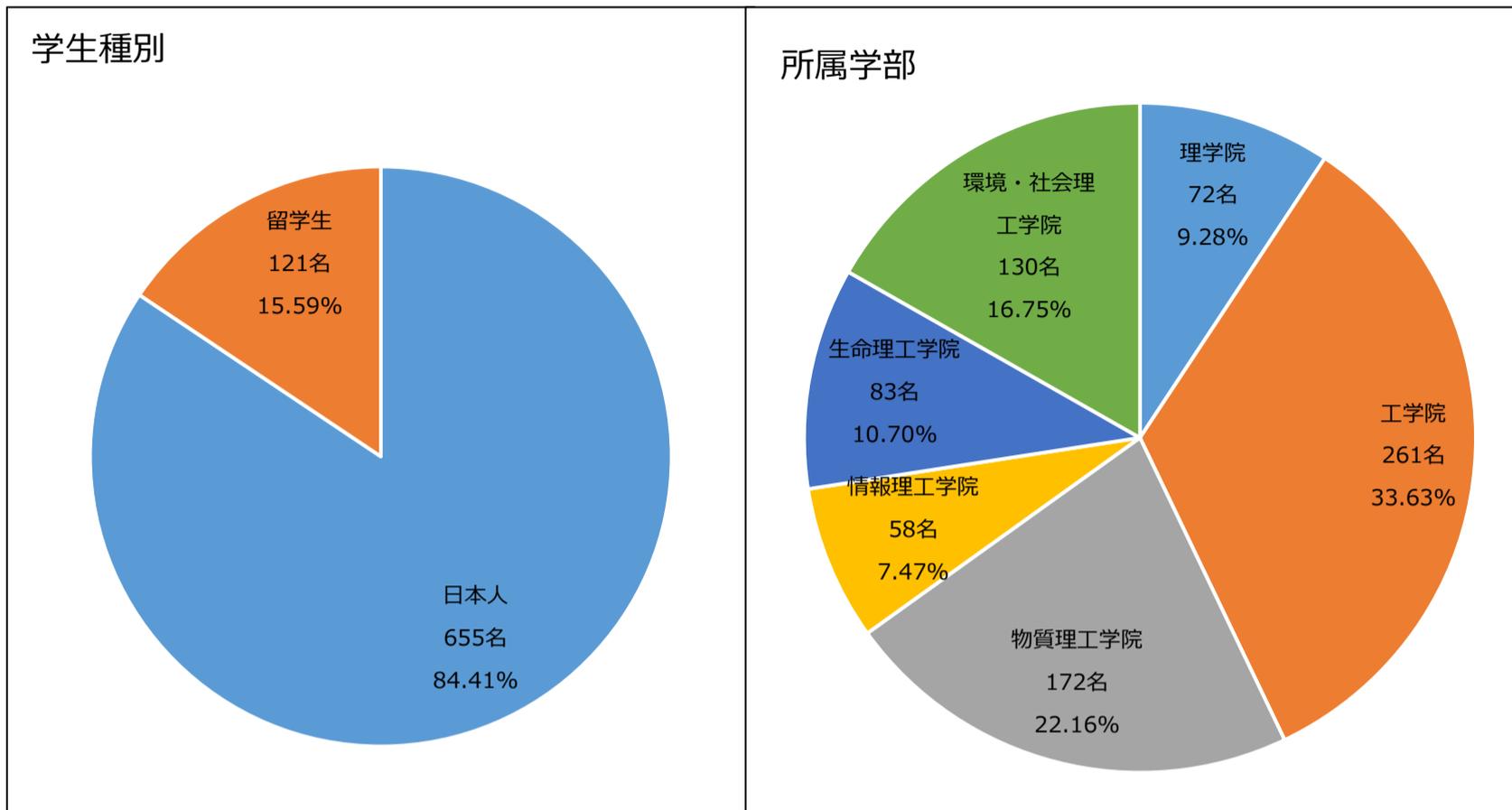


令和5年度 教育改善に関するアンケート〈修士課程〉

基本統計量

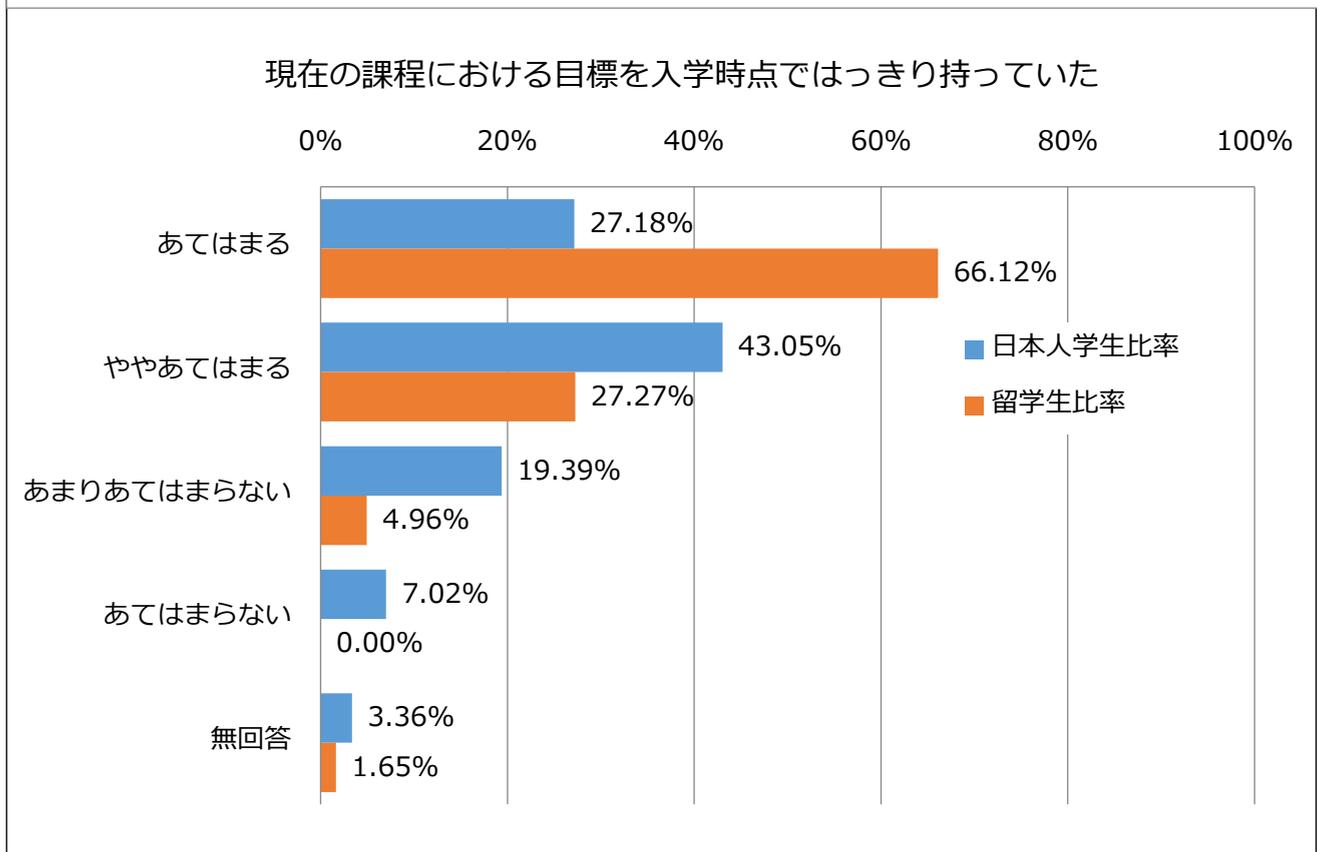
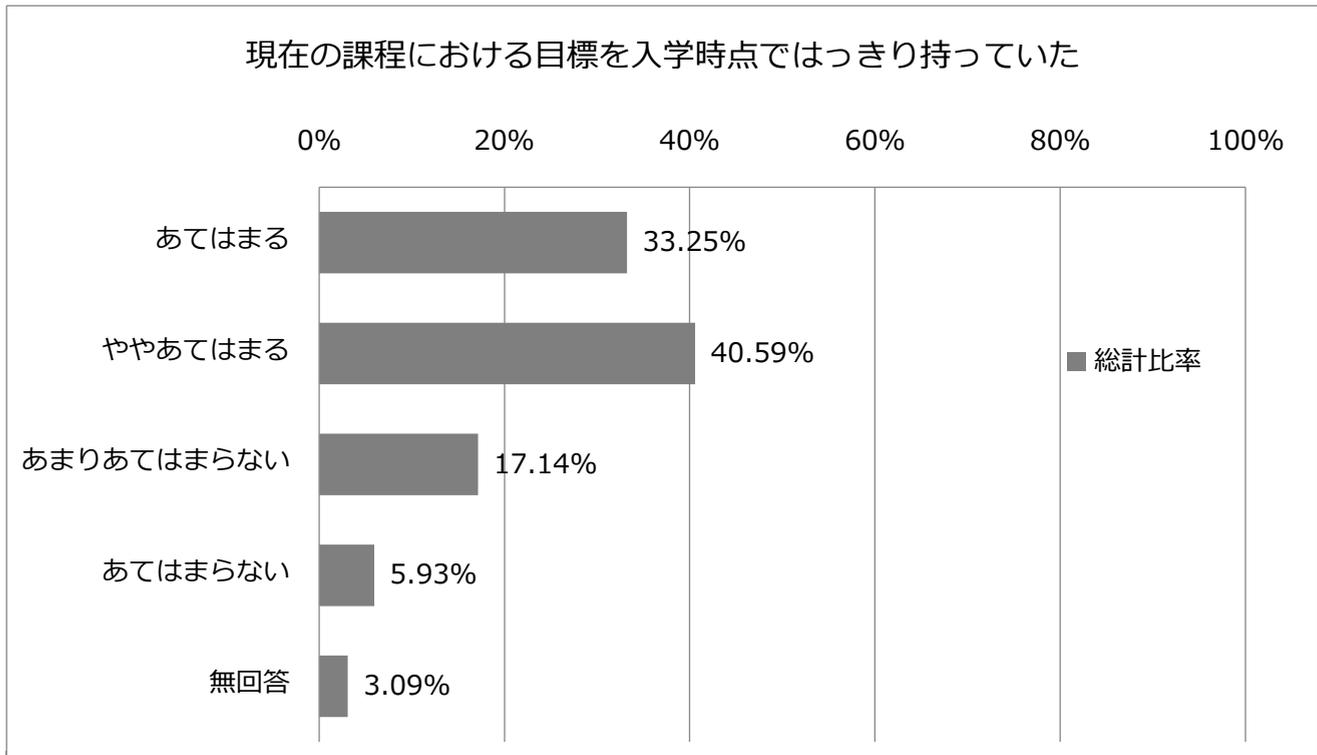


学生種別	人数	割合
日本人	655	84.41%
留学生	121	15.59%
総計	776	100.00%

所属学部	日本人学生	留学生	総計	割合
理学院	68	4	72	9.28%
工学院	213	48	261	33.63%
物質理工学院	153	19	172	22.16%
情報理工学院	48	10	58	7.47%
生命理工学院	74	9	83	10.70%
環境・社会理工学院	99	31	130	16.75%
総計	655	121	776	100.00%

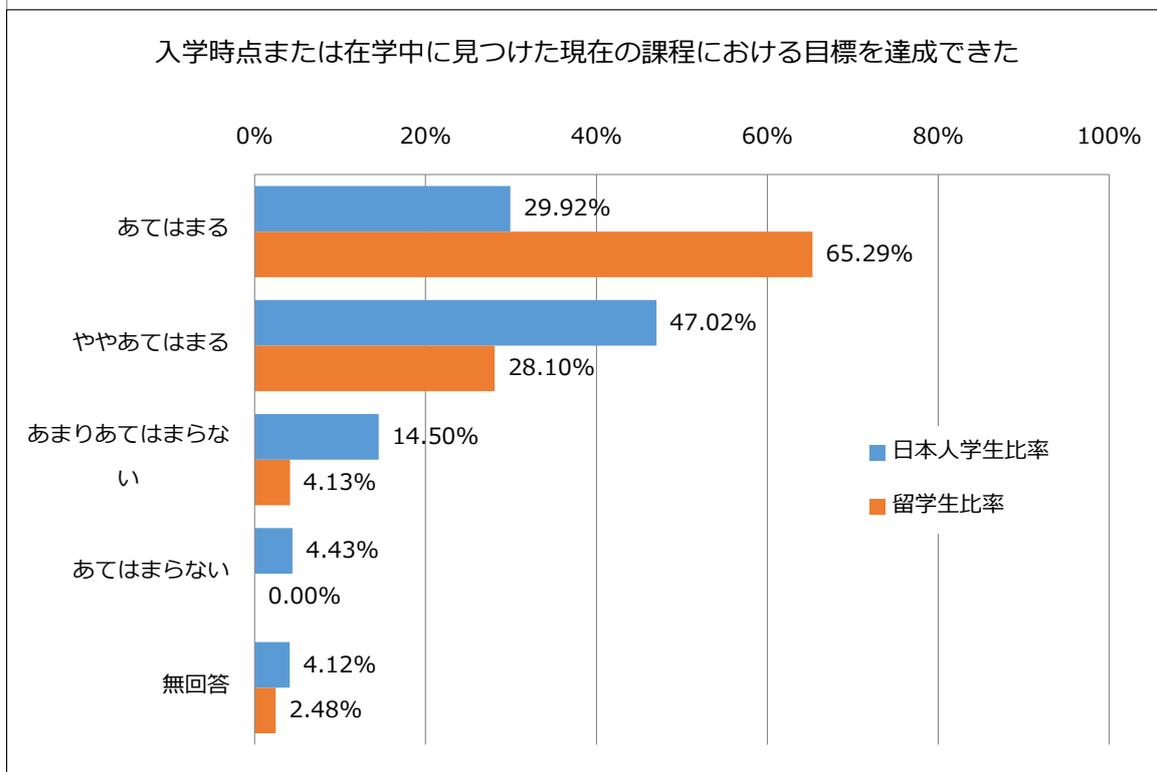
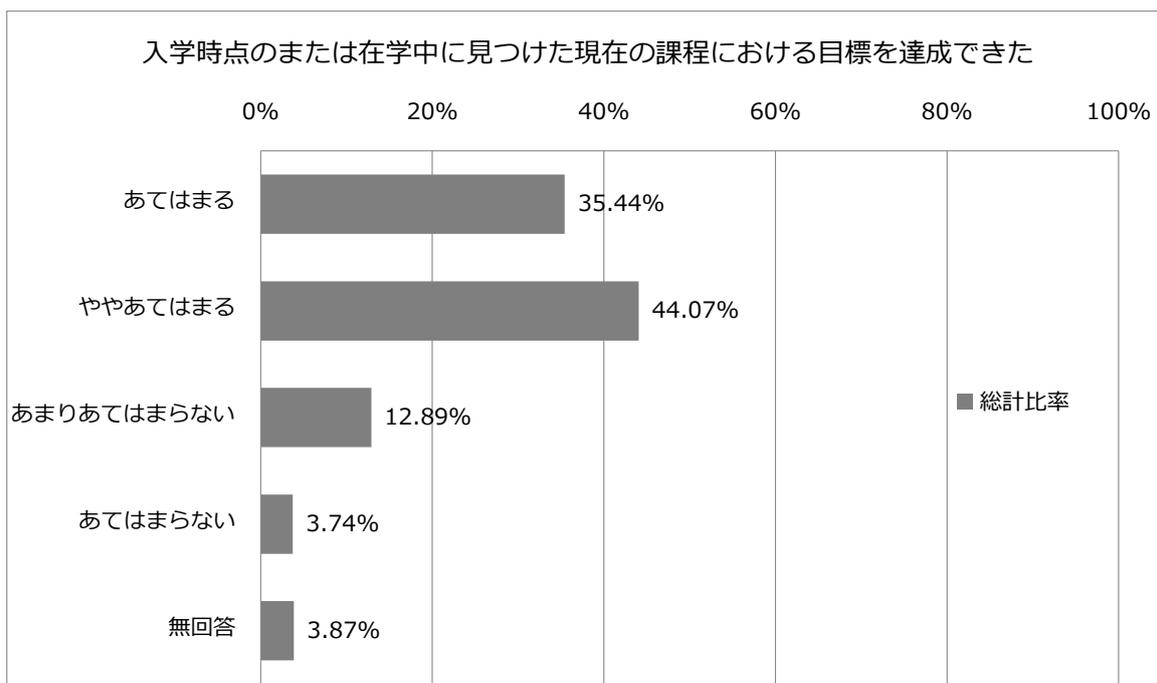
問1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

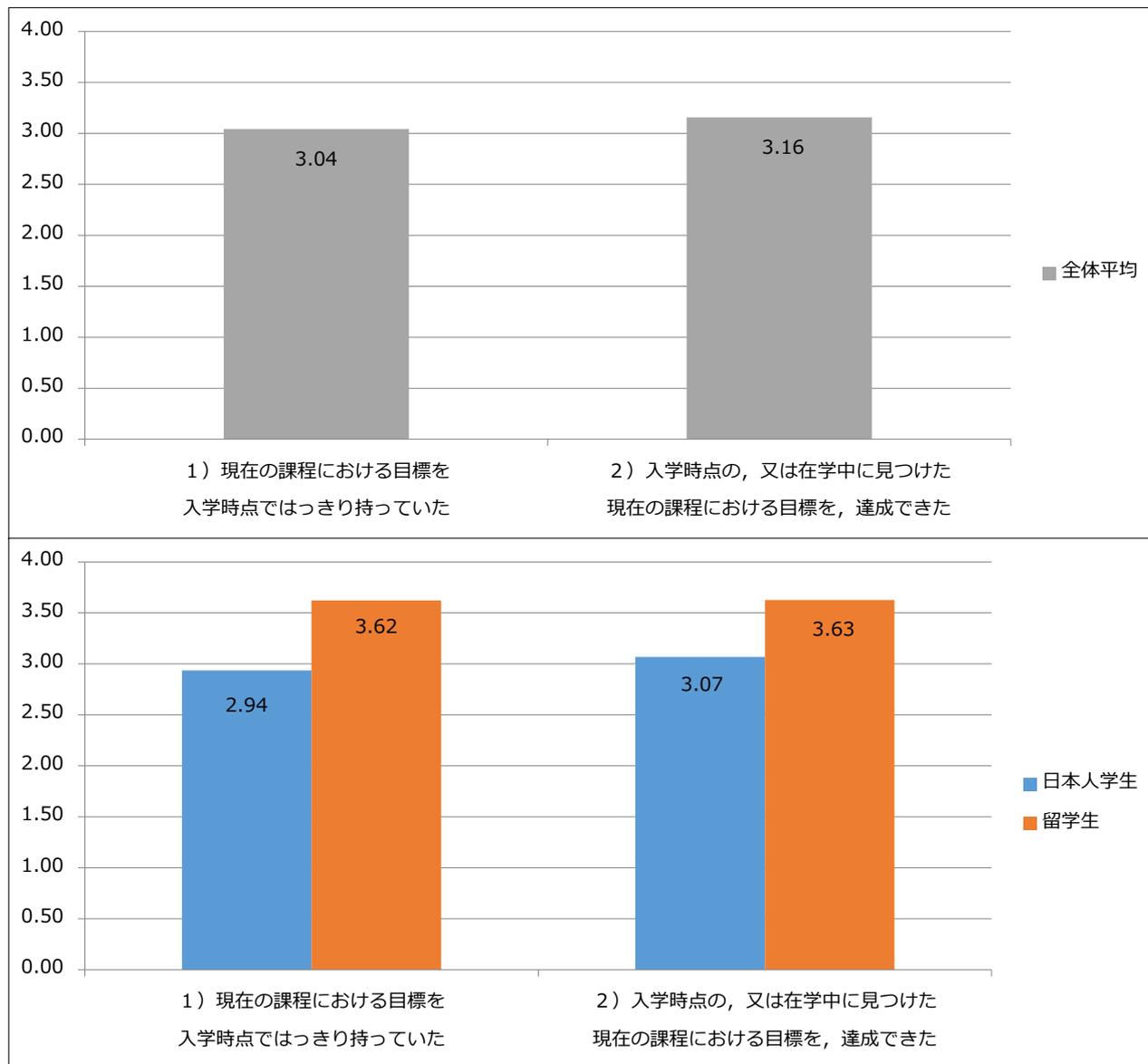
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた



問1. 課程における目標について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.04	2.94	3.62
2) 入学時点の, 又は在学中に見つけた現在の課程における目標を, 達成できた	3.16	3.07	3.63

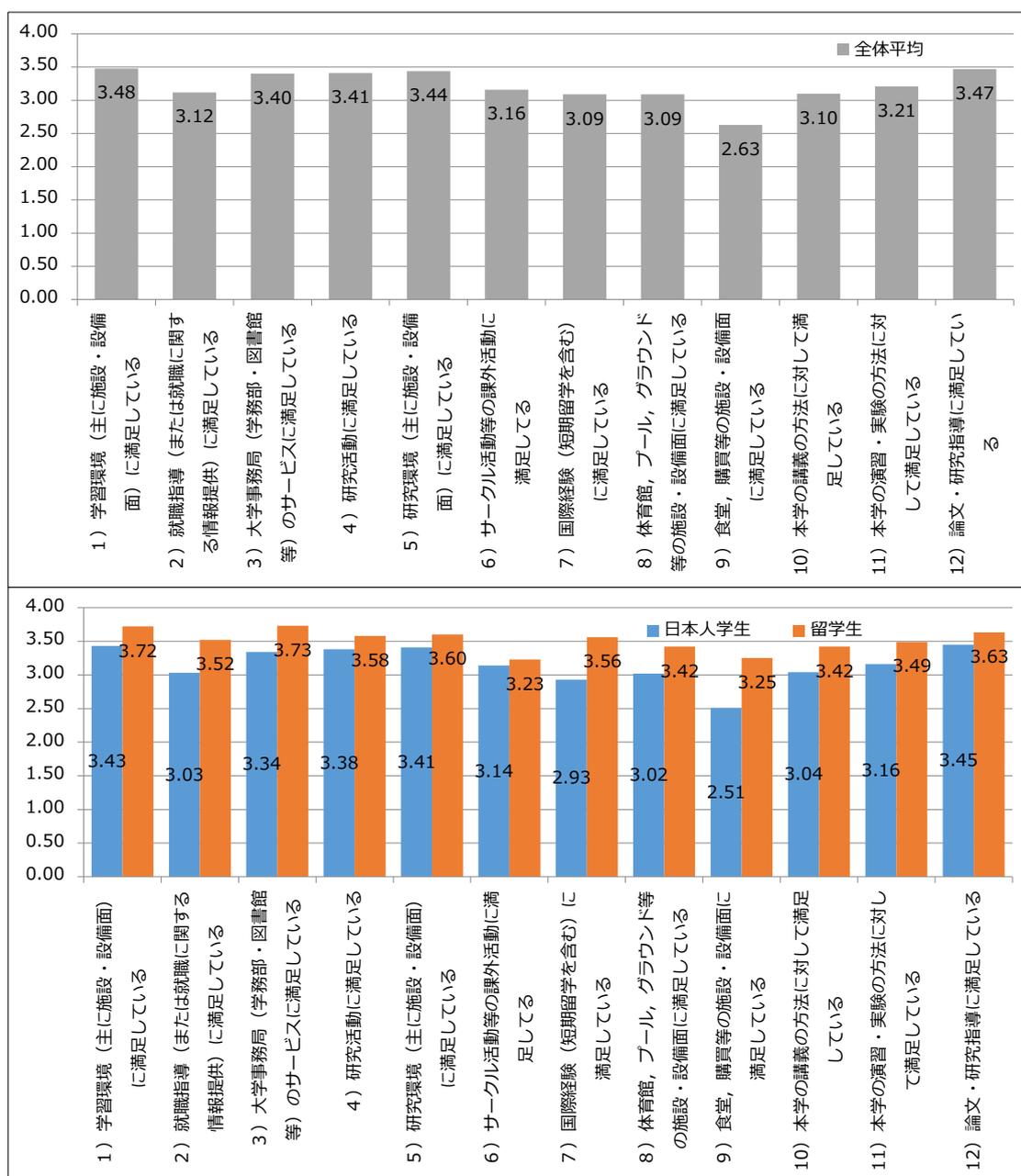
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.48	3.43	3.72
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	3.12	3.03	3.52
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	3.40	3.34	3.73
4) 研究活動に満足している	3.41	3.38	3.58
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.44	3.41	3.60
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.16	3.14	3.23
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	3.09	2.93	3.56
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	3.09	3.02	3.42
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.63	2.51	3.25
10) 本学の講義の方法に対して満足している	3.10	3.04	3.42
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.21	3.16	3.49
12) 論文・研究指導に満足している	3.47	3.45	3.63

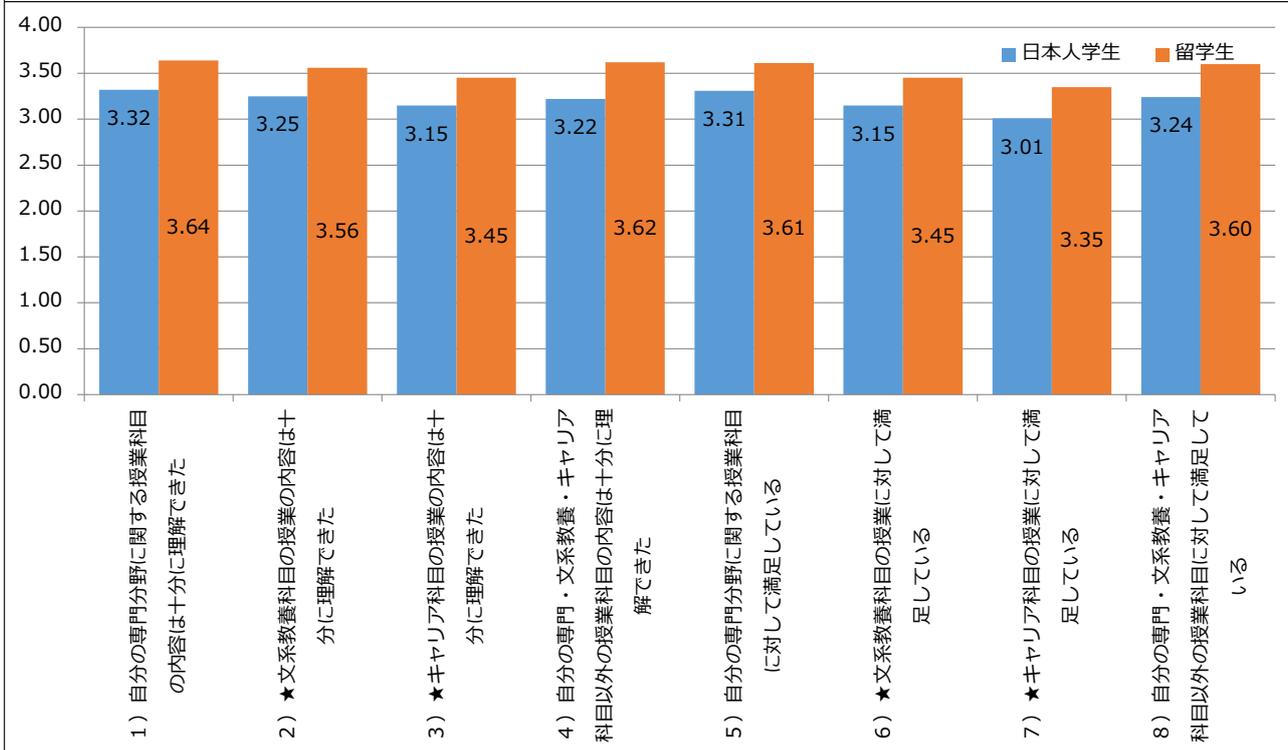
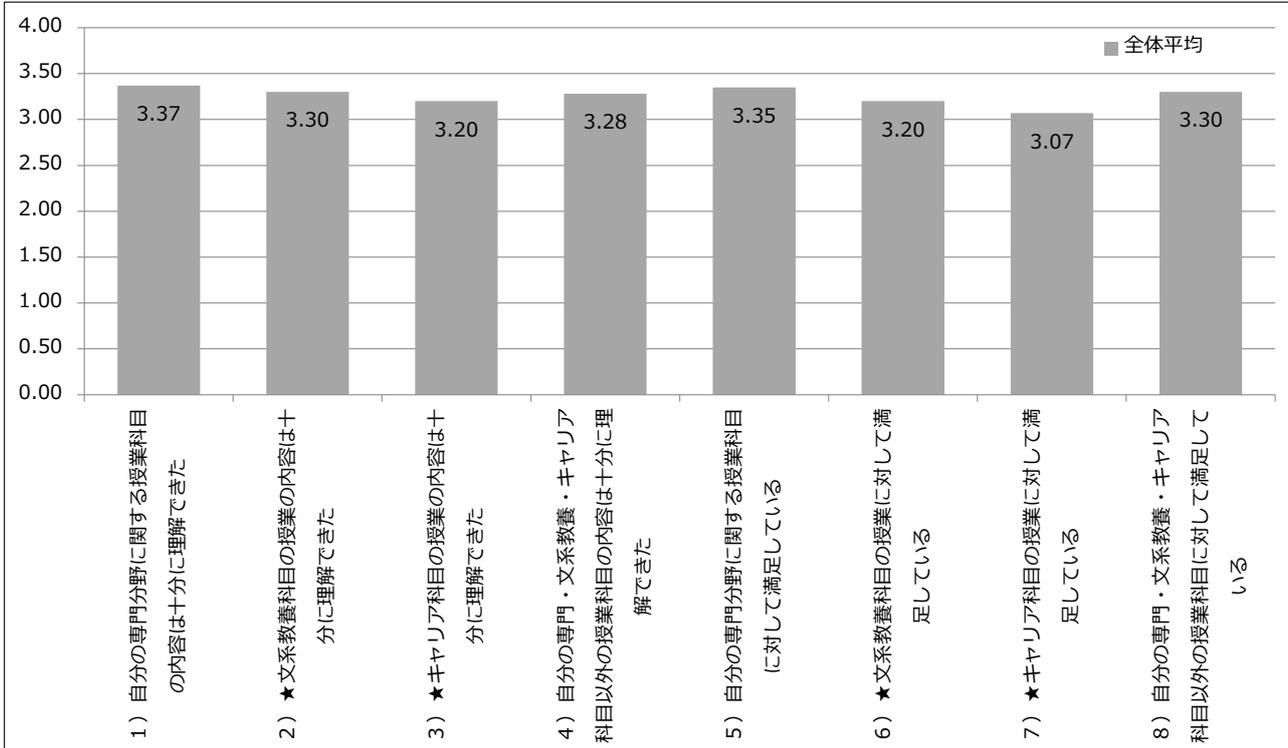
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には「履修していない」以外を選択してください

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.37	3.32	3.64
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	3.30	3.25	3.56
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.20	3.15	3.45
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.28	3.22	3.62
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.35	3.31	3.61
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	3.20	3.15	3.45
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	3.07	3.01	3.35
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.30	3.24	3.60

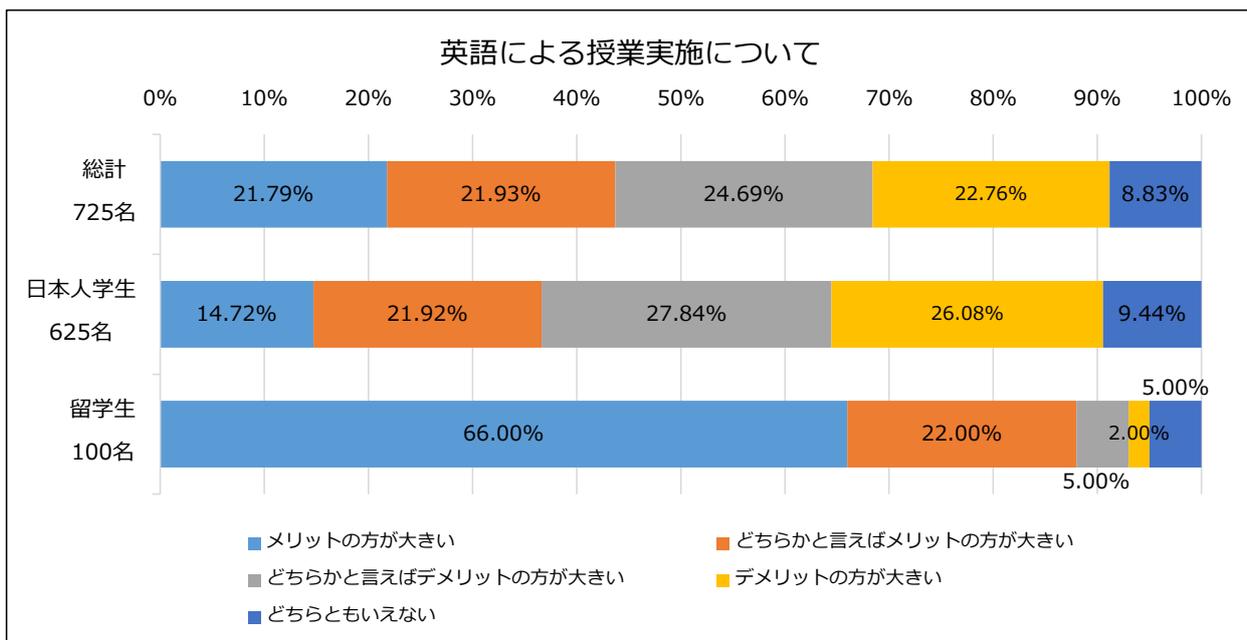
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業実施について

1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

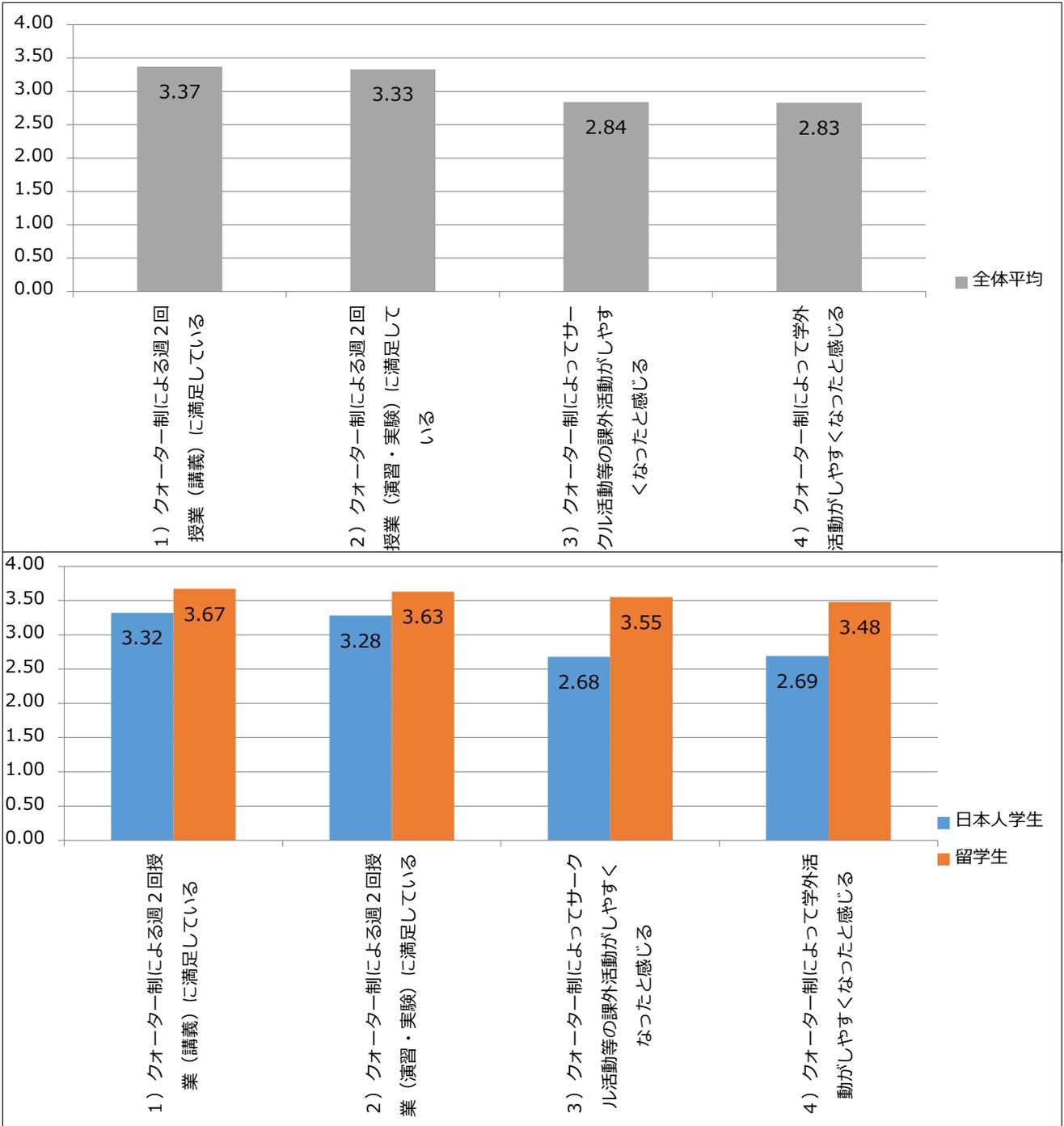
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
メリットの方が大きい	158名	21.79%	92名	14.72%	66名	66.00%
どちらかと言えばメリットの方が大きい	159名	21.93%	137名	21.92%	22名	22.00%
どちらかと言えばデメリットの方が大きい	179名	24.69%	174名	27.84%	5名	5.00%
デメリットの方が大きい	165名	22.76%	163名	26.08%	2名	2.00%
どちらともいえない	64名	8.83%	59名	9.44%	5名	5.00%
総計	725名	100.00%	625名	100.00%	100名	100.00%
無回答	51名		30名		21名	



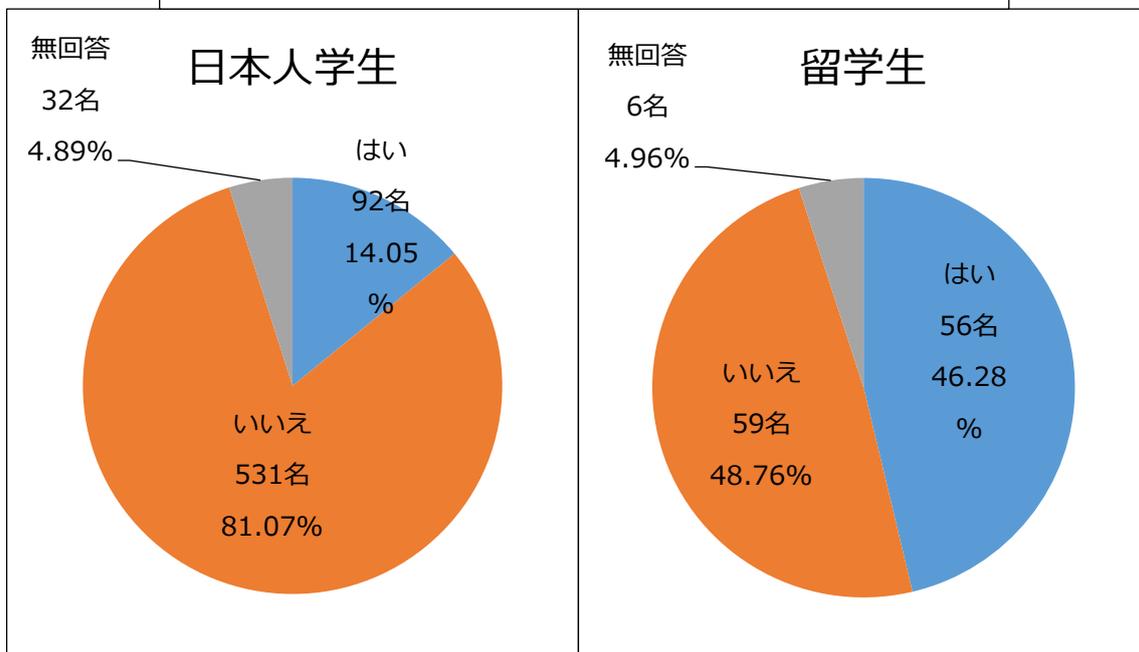
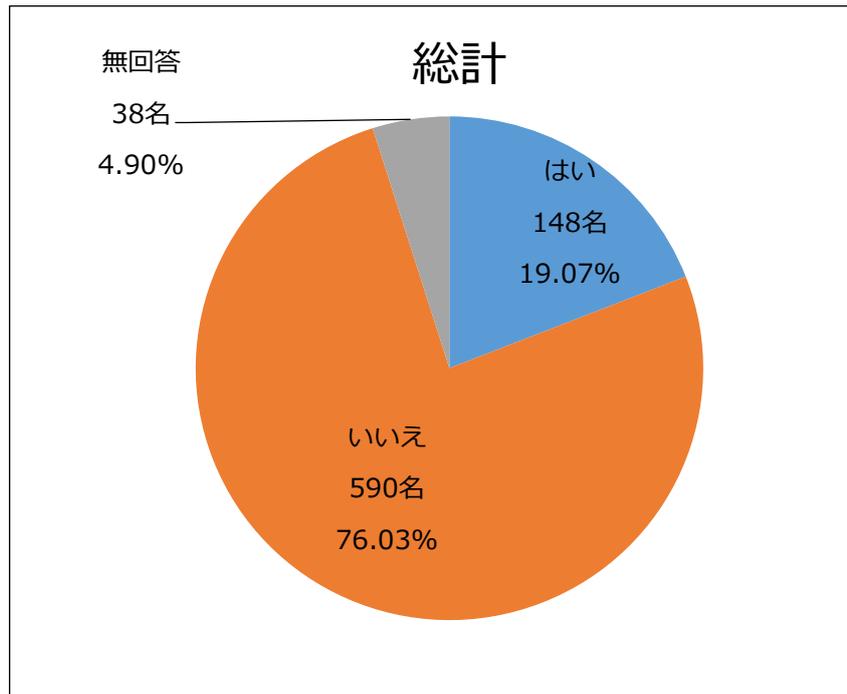
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.37	3.32	3.67
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	3.33	3.28	3.63
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.84	2.68	3.55
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.83	2.69	3.48

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

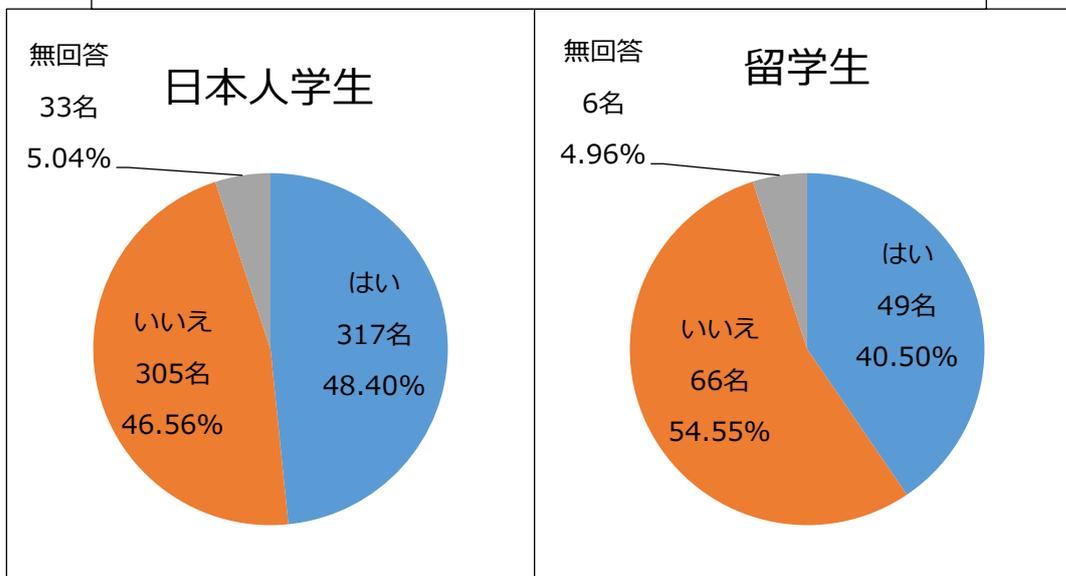
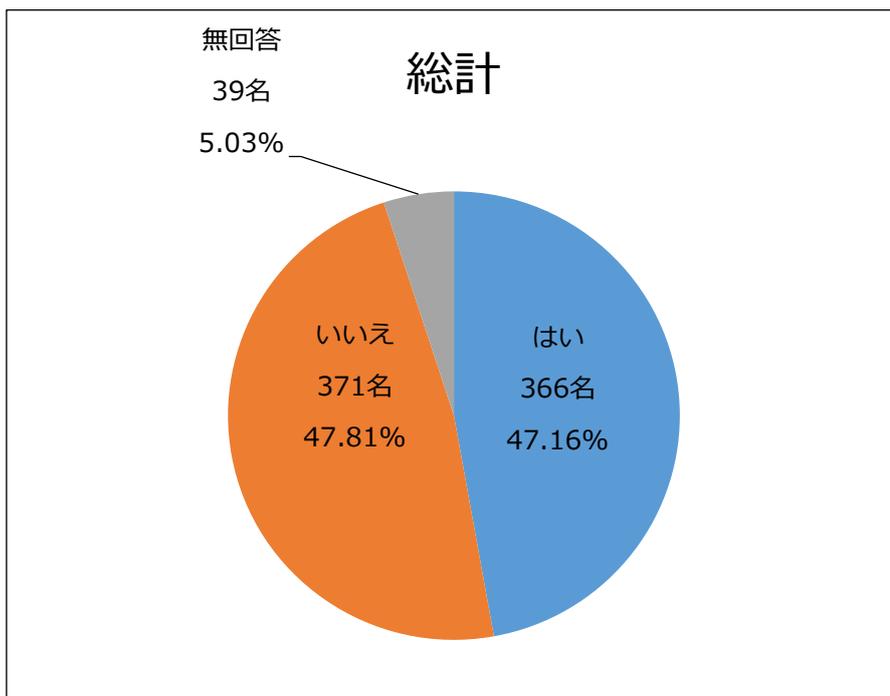


問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある

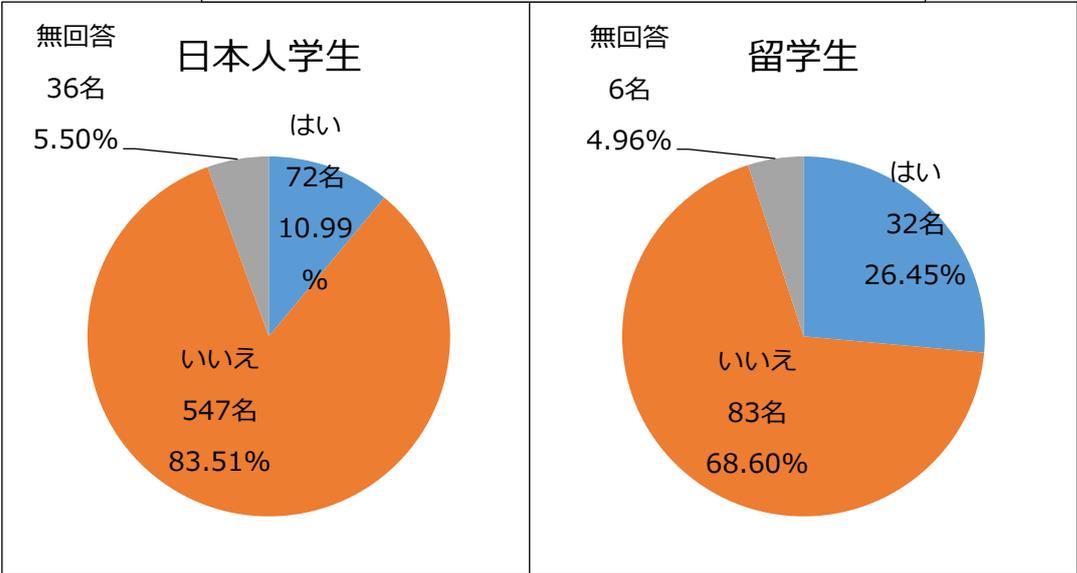
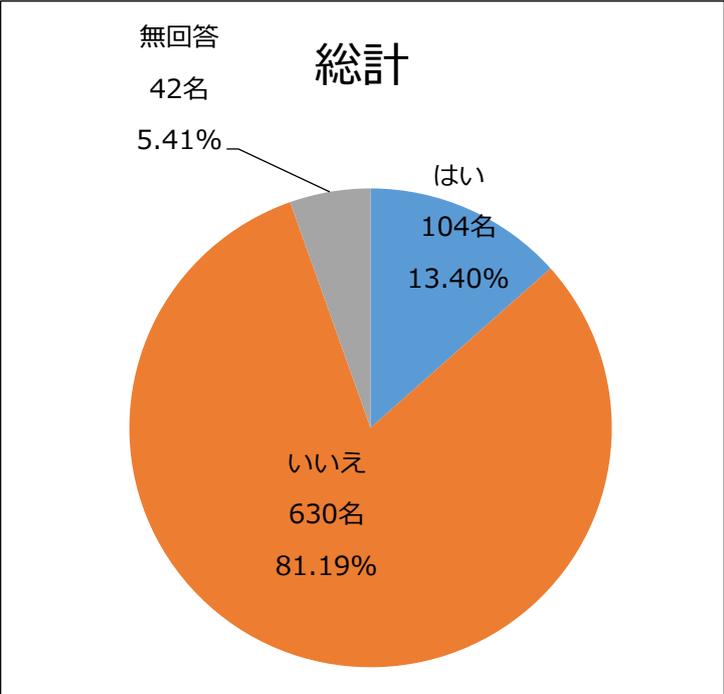


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



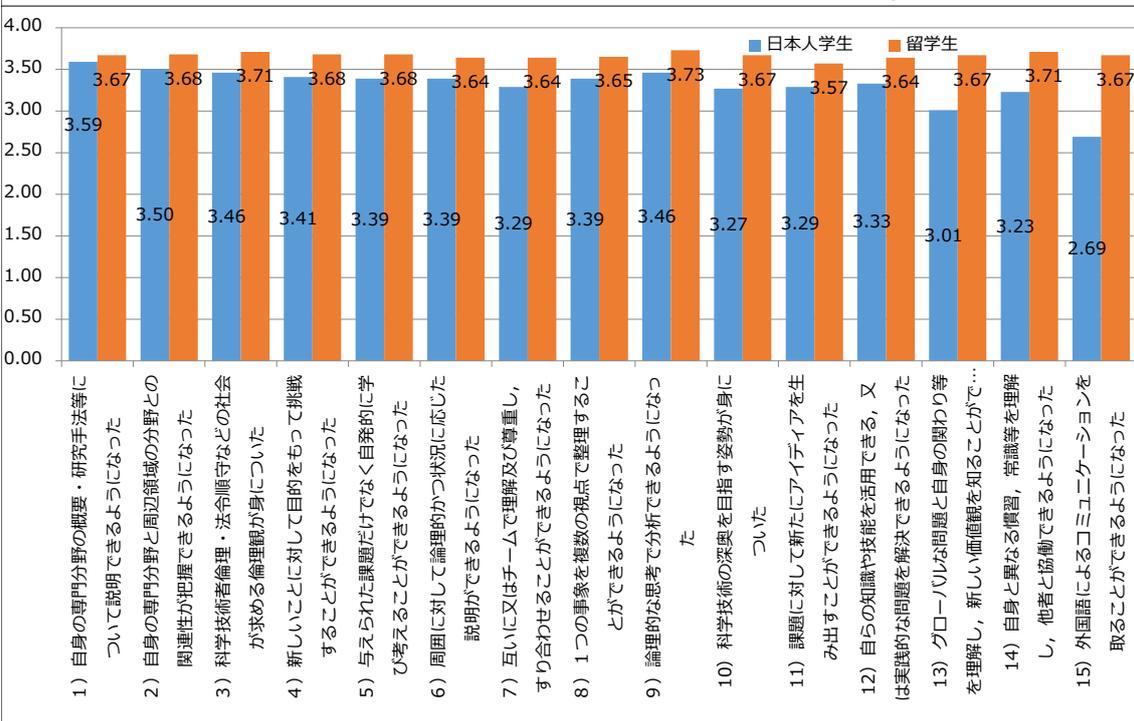
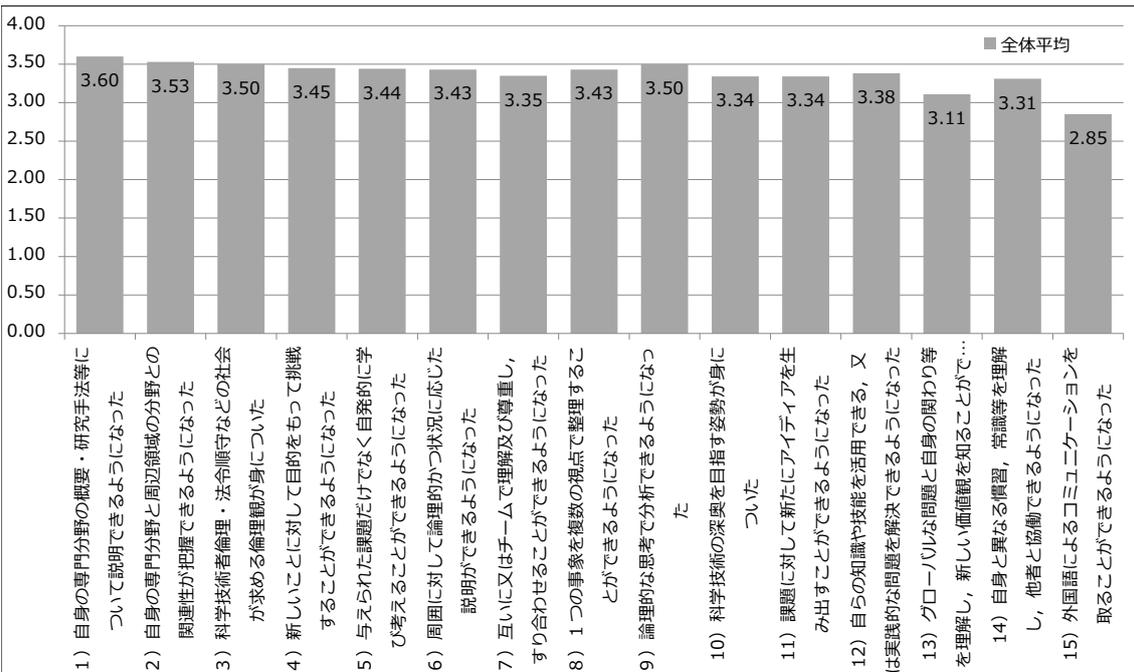
問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.60	3.59	3.67
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.53	3.50	3.68
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.50	3.46	3.71
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.45	3.41	3.68
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.44	3.39	3.68
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.43	3.39	3.64
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.35	3.29	3.64
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.43	3.39	3.65
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.50	3.46	3.73
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.34	3.27	3.67
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.34	3.29	3.57
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.38	3.33	3.64
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.11	3.01	3.67
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.31	3.23	3.71
15) 外国語によるコミュニケーションを取ることができるようになった	2.85	2.69	3.67

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

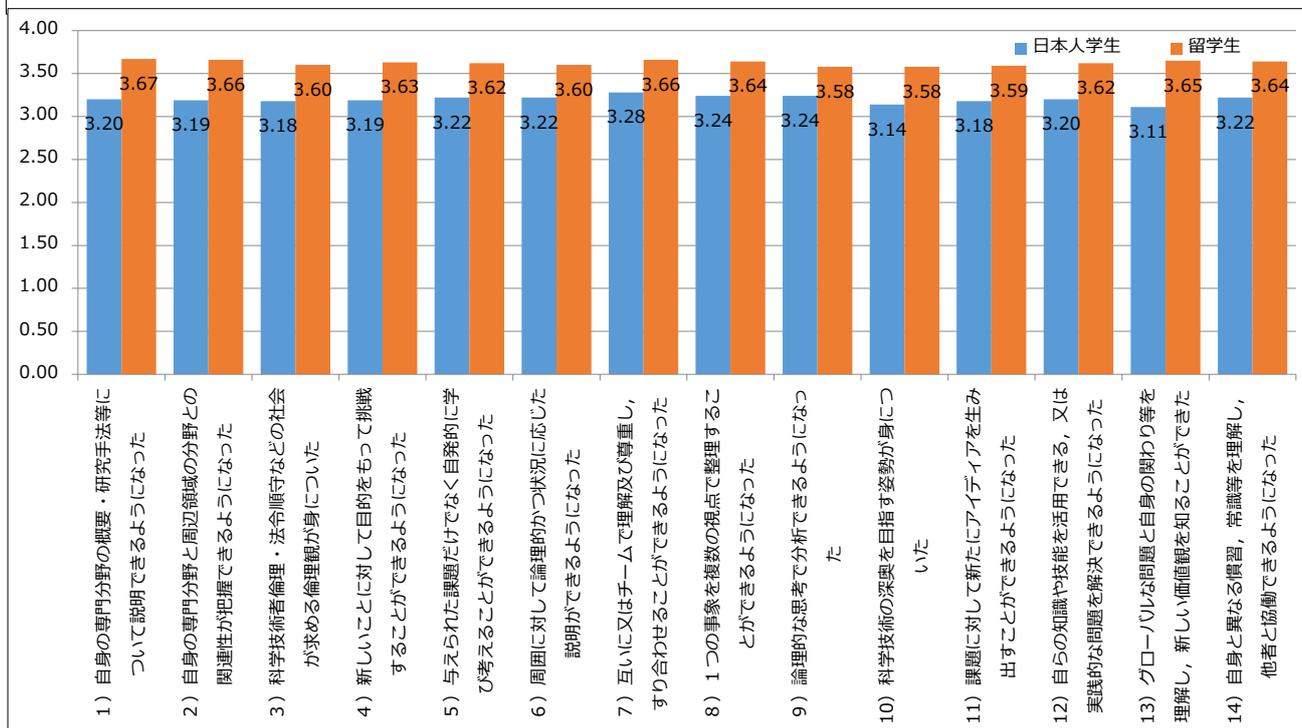
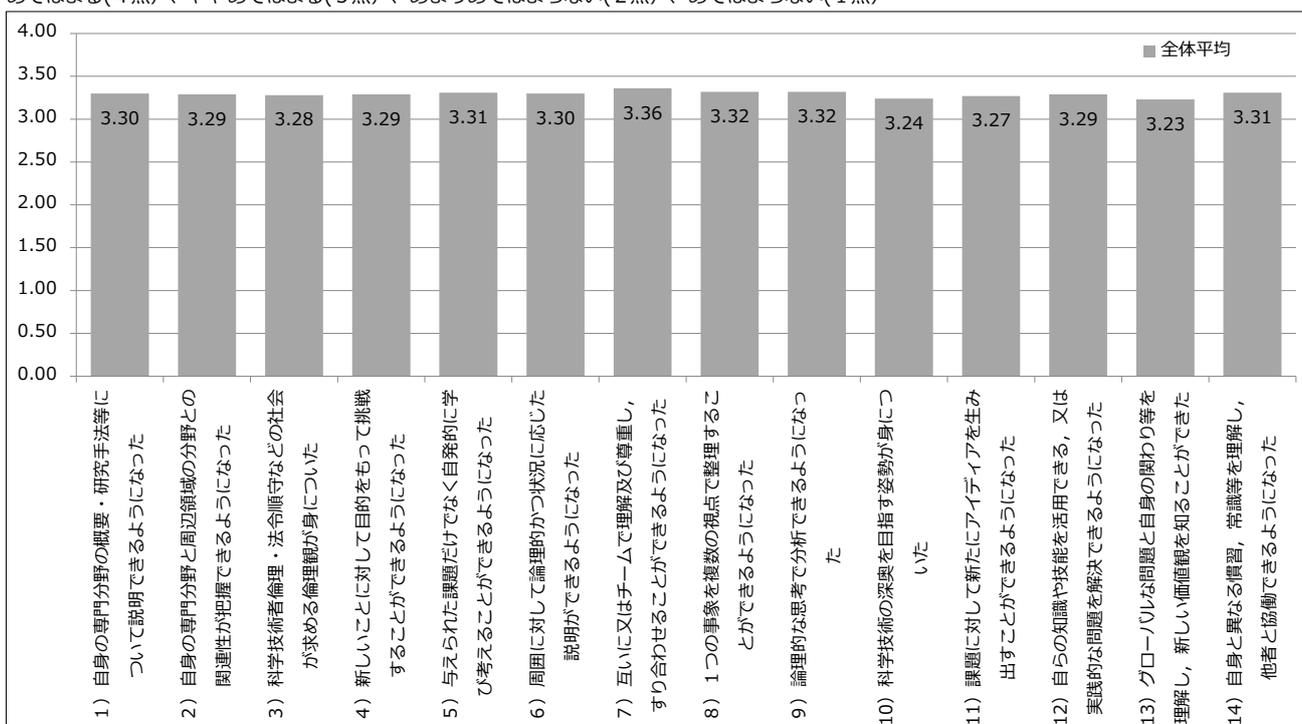


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【コア学修科目】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.30	3.20	3.67
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.29	3.19	3.66
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.28	3.18	3.60
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.29	3.19	3.63
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.31	3.22	3.62
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.30	3.22	3.60
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.36	3.28	3.66
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.32	3.24	3.64
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.32	3.24	3.58
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.24	3.14	3.58
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.27	3.18	3.59
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.29	3.20	3.62
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.23	3.11	3.65
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.31	3.22	3.64

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

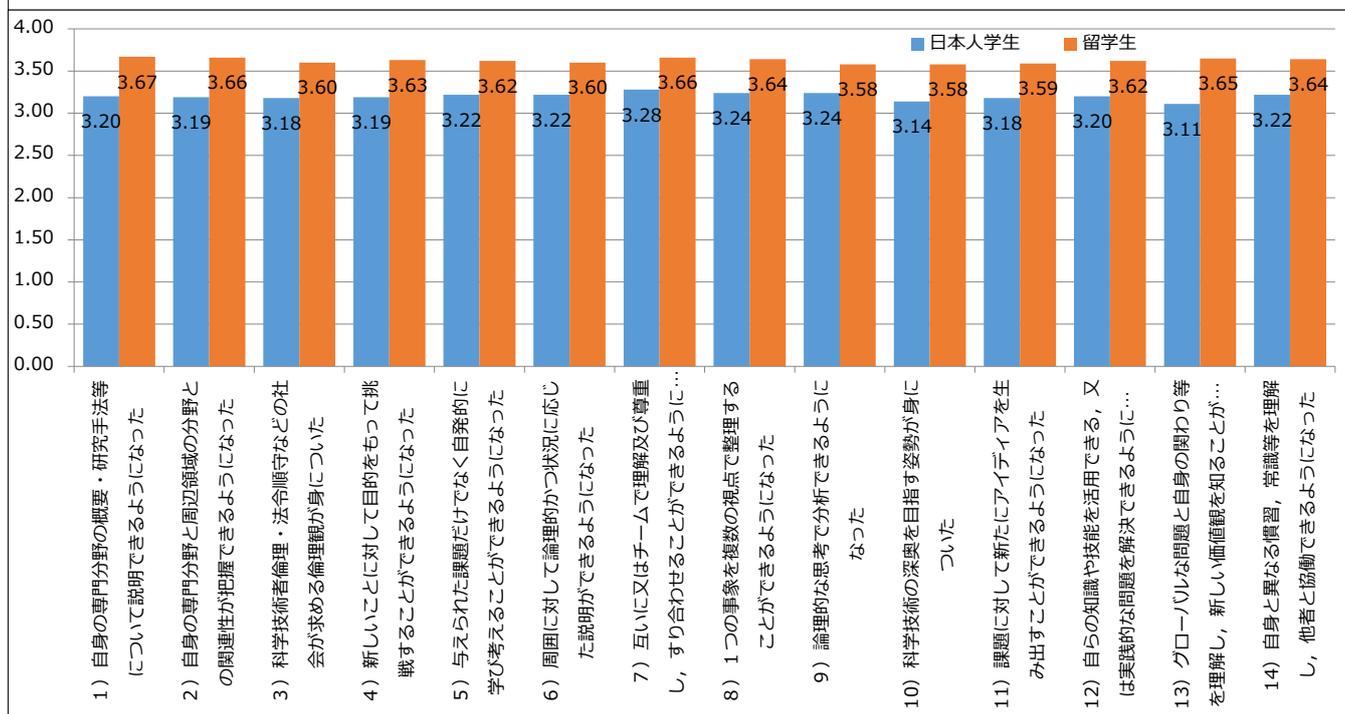
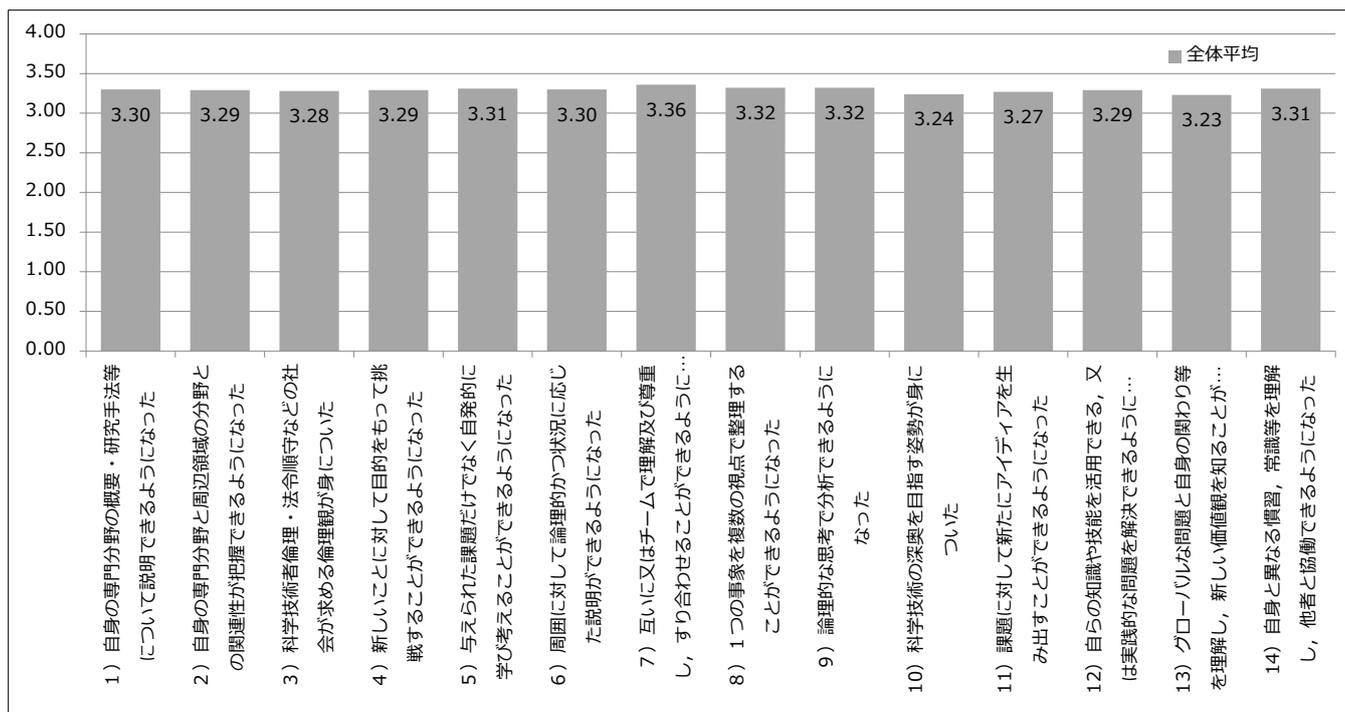


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【文系教養科目(コア学修科目以外)】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.30	3.20	3.67
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.29	3.19	3.66
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.28	3.18	3.60
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.29	3.19	3.63
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.31	3.22	3.62
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.30	3.22	3.60
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせることができるようになった	3.36	3.28	3.66
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.32	3.24	3.64
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.32	3.24	3.58
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.24	3.14	3.58
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.27	3.18	3.59
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.29	3.20	3.62
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.23	3.11	3.65
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.31	3.22	3.64

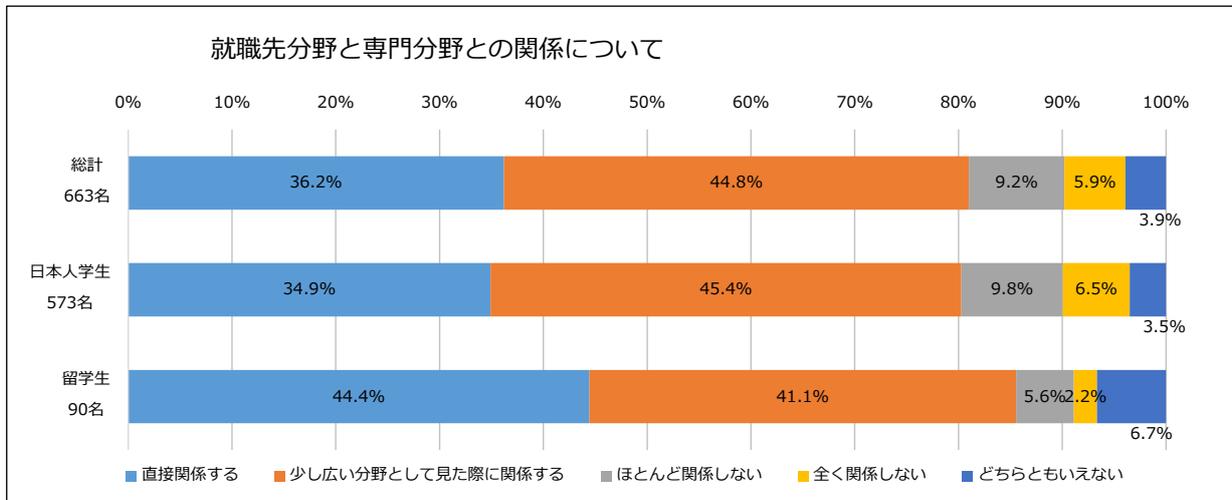
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問8 就職までに至るまでの状況について

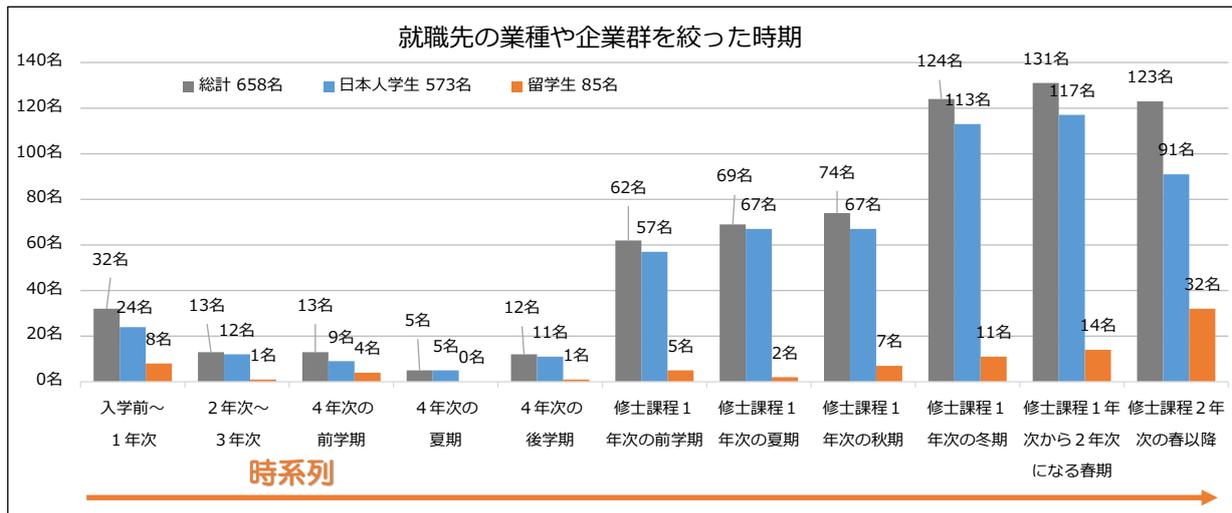
2) 就職先は、学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
直接関係する	240名	36.2%	200名	34.9%	40名	44.4%
少し広い分野として見た際に関係する	297名	44.8%	260名	45.4%	37名	41.1%
ほとんど関係しない	61名	9.2%	56名	9.8%	5名	5.6%
全く関係しない	39名	5.9%	37名	6.5%	2名	2.2%
どちらともいえない	26名	3.9%	20名	3.5%	6名	6.7%
総計	663名	100.0%	573名	100.0%	90名	100.0%
無回答	113名		82名		31名	



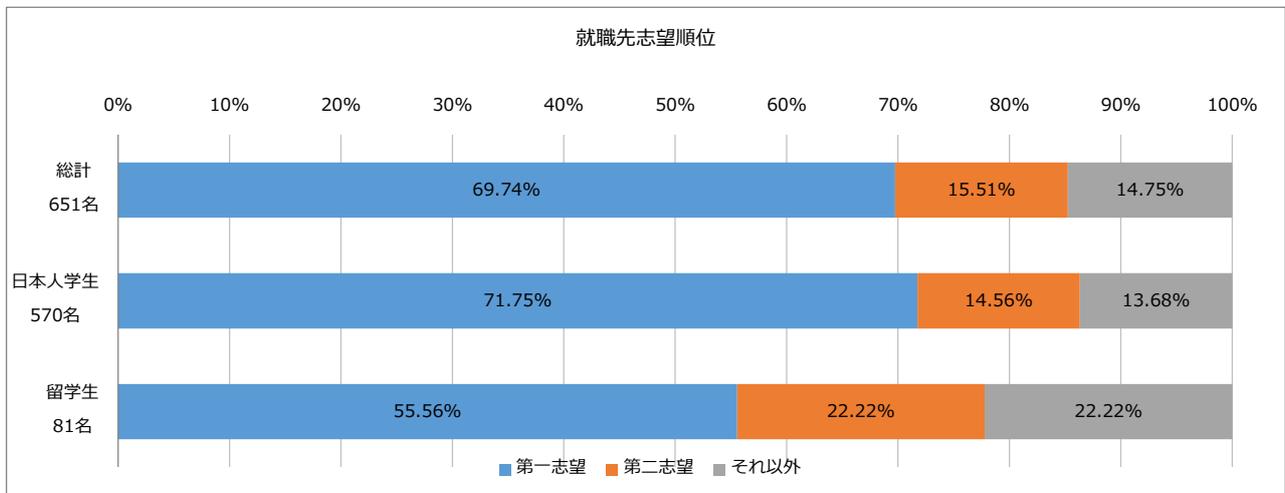
4) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について、最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	32名	4.86%	24名	4.19%	8名	9.41%
2年次～3年次	13名	1.98%	12名	2.09%	1名	1.18%
4年次の前学期	13名	1.98%	9名	1.57%	4名	4.71%
4年次の夏期	5名	0.76%	5名	0.87%	0名	0.00%
4年次の後学期	12名	1.82%	11名	1.92%	1名	1.18%
修士課程1年次の前学期	62名	9.42%	57名	9.95%	5名	5.88%
修士課程1年次の夏期	69名	10.49%	67名	11.69%	2名	2.35%
修士課程1年次の秋期	74名	11.25%	67名	11.69%	7名	8.24%
修士課程1年次の冬期	124名	18.84%	113名	19.72%	11名	12.94%
修士課程1年次から2年次になる春期	131名	19.91%	117名	20.42%	14名	16.47%
修士課程2年次の春以降	123名	18.69%	91名	15.88%	32名	37.65%
総計	658名	100.00%	573名	100.00%	85名	100.00%
無回答	118名		82名		36名	



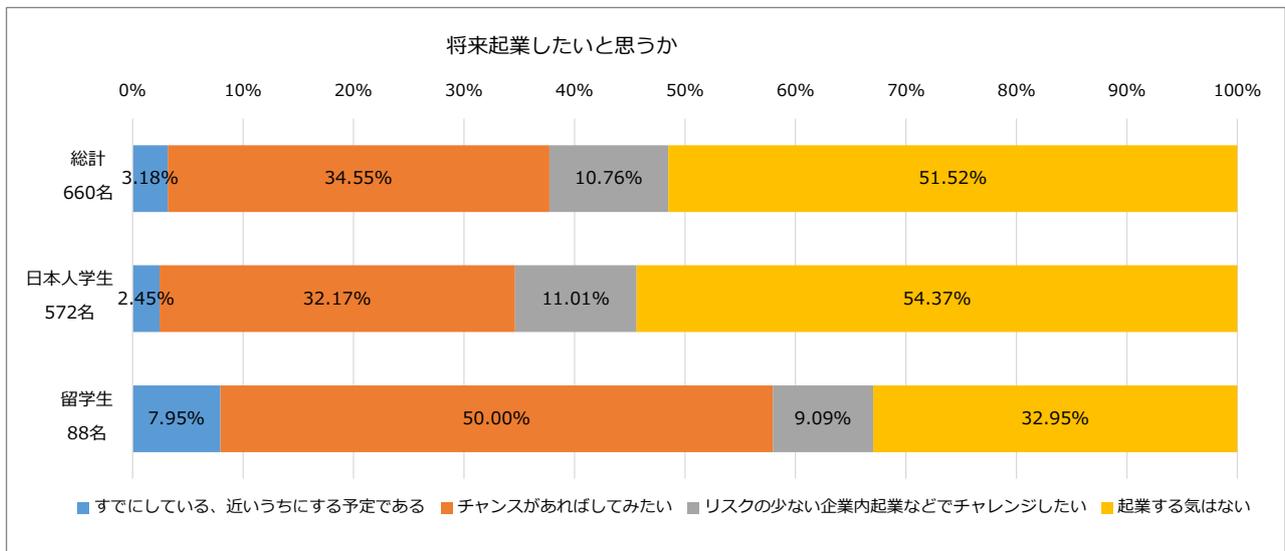
問8 就職までに至るまでの状況について
 5) 就職先の志望順位について選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第一志望	454名	69.74%	409名	71.75%	45名	55.56%
第二志望	101名	15.51%	83名	14.56%	18名	22.22%
それ以外	96名	14.75%	78名	13.68%	18名	22.22%
回答者計	651名	100.00%	570名	100.00%	81名	100.00%
無回答	125名		85名		40名	



6) 将来的に起業したいと思いますか。最もふさわしいものを1つ選択ください。

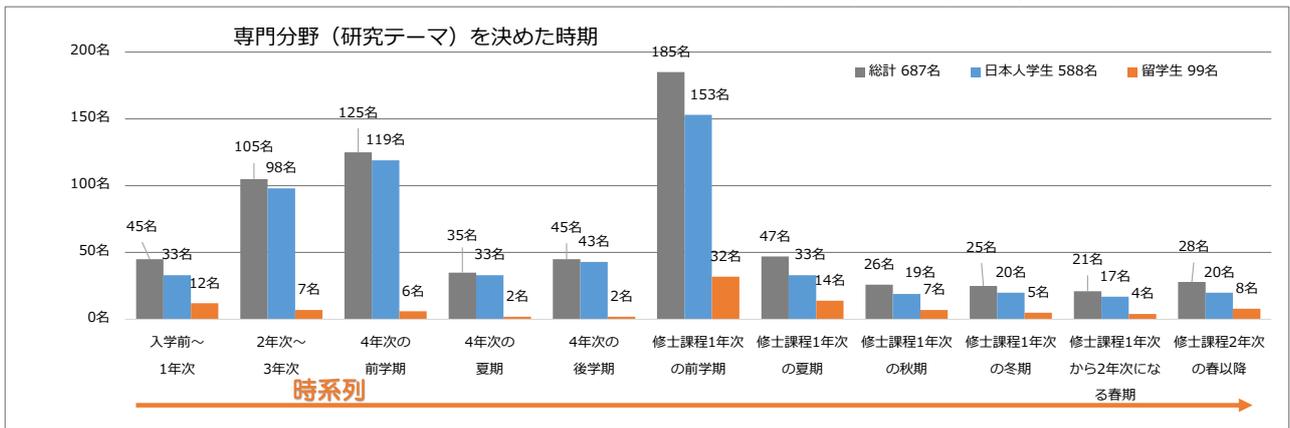
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
すでに行っている、近いうちに予定である	21名	3.18%	14名	2.45%	7名	7.95%
チャンスがあればしてみたい	228名	34.55%	184名	32.17%	44名	50.00%
リスクの少ない企業内起業などでチャレンジしたい	71名	10.76%	63名	11.01%	8名	9.09%
起業する気はない	340名	51.52%	311名	54.37%	29名	32.95%
回答者計	660名	100.00%	572名	100.00%	88名	100.00%
無回答	116名		83名		33名	



問8 就職までに至るまでの状況について

7) いつ頃具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

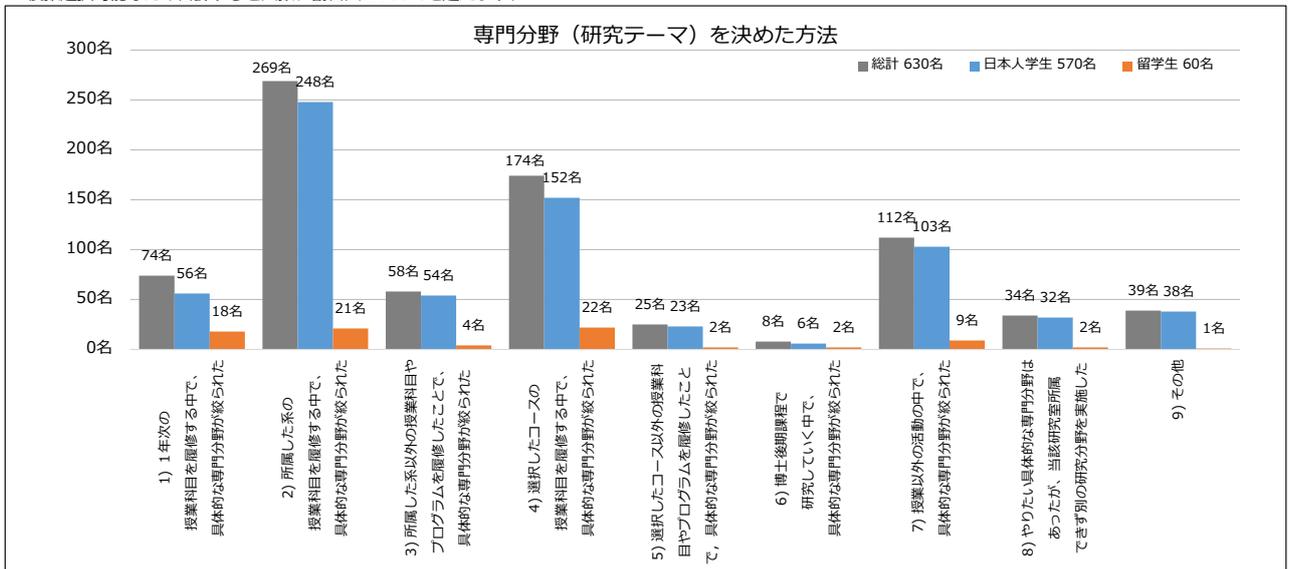
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	45名	6.55%	33名	5.61%	12名	12.12%
2年次～3年次	105名	15.28%	98名	16.67%	7名	7.07%
4年次の前学期	125名	18.20%	119名	20.24%	6名	6.06%
4年次の夏期	35名	5.09%	33名	5.61%	2名	2.02%
4年次の後学期	45名	6.55%	43名	7.31%	2名	2.02%
修士課程1年次の前学期	185名	26.93%	153名	26.02%	32名	32.32%
修士課程1年次の夏期	47名	6.84%	33名	5.61%	14名	14.14%
修士課程1年次の秋期	26名	3.78%	19名	3.23%	7名	7.07%
修士課程1年次の冬期	25名	3.64%	20名	3.40%	5名	5.05%
修士課程1年次から2年次になる春期	21名	3.06%	17名	2.89%	4名	4.04%
修士課程2年次の春以降	28名	4.08%	20名	3.40%	8名	8.08%
総計	687名	100.00%	588名	100.00%	99名	100.00%
無回答	89名		67名		22名	



8) 具体的な専門分野（研究テーマなど）をどのように絞っていきましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。

問8-8) の回答学生数	総計 630名		日本人学生 570名		留学生 60名	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 1年次の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	74名	11.75%	56名	9.82%	18名	30.00%
2) 所属した系の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	269名	42.70%	248名	43.51%	21名	35.00%
3) 所属した系以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	58名	9.21%	54名	9.47%	4名	6.67%
4) 選択したコースの授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	174名	27.62%	152名	26.67%	22名	36.67%
5) 選択したコース以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	25名	3.97%	23名	4.04%	2名	3.33%
6) 博士後期課程で研究していく中で、具体的な専門分野が絞られた	8名	1.27%	6名	1.05%	2名	3.33%
7) 授業以外の活動の中で、具体的な専門分野が絞られた	112名	17.78%	103名	18.07%	9名	15.00%
8) やりたい具体的な専門分野はあったが、当該研究室所属できず別の研究分野を実施した	34名	5.40%	32名	5.61%	2名	3.33%
9) その他	39名	6.19%	38名	6.67%	1名	1.67%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

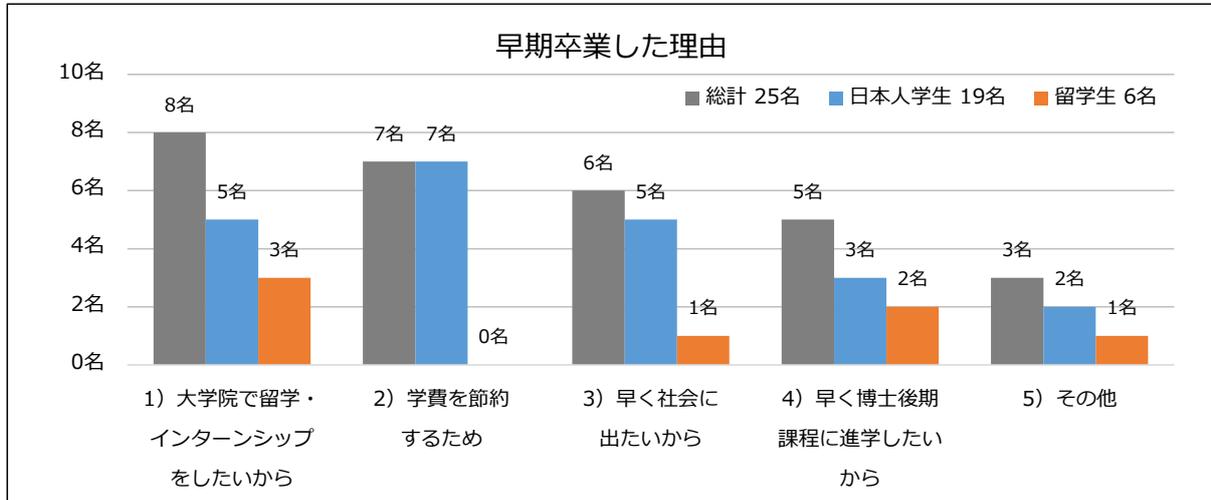


問8 就職までに至るまでの状況について

9) 早期卒業した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

問8-9) の回答学生数	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 大学院で留学・インターンシップをしたいから	8名	32.00%	5名	26.32%	3名	50.00%
2) 学費を節約するため	7名	28.00%	7名	36.84%	0名	0.00%
3) 早く社会に出たいから	6名	24.00%	5名	26.32%	1名	16.67%
4) 早く博士後期課程に進学したいから	5名	20.00%	3名	15.79%	2名	33.33%
5) その他	3名	12.00%	2名	10.53%	1名	16.67%

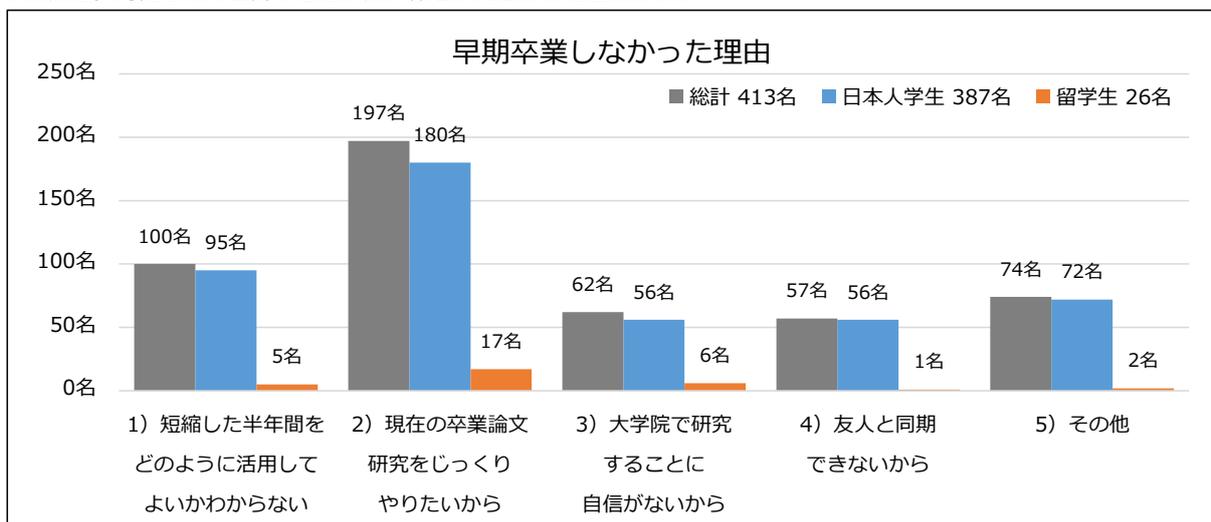
※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



10) 早期卒業をしなかった方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

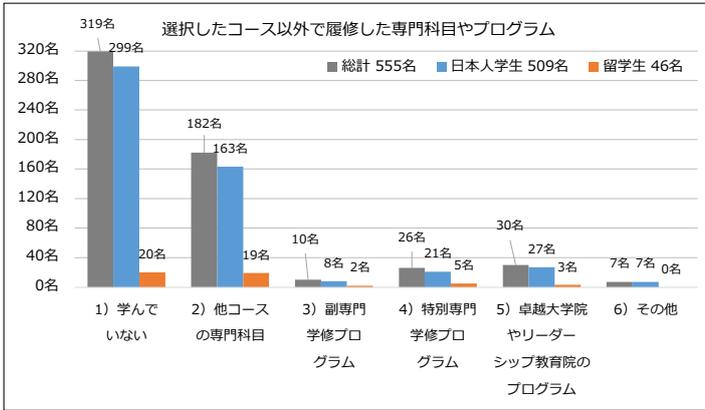
問8-10) の回答学生数	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 短縮した半年間をどのように活用してよいかわからない	100名	24.21%	95名	24.55%	5名	19.23%
2) 現在の卒業論文研究をじっくりやりたいから	197名	47.70%	180名	46.51%	17名	65.38%
3) 大学院で研究することに自信がないから	62名	15.01%	56名	14.47%	6名	23.08%
4) 友人と同期できないから	57名	13.80%	56名	14.47%	1名	3.85%
5) その他	74名	17.92%	72名	18.60%	2名	7.69%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



問8 就職までに至るまでの状況について

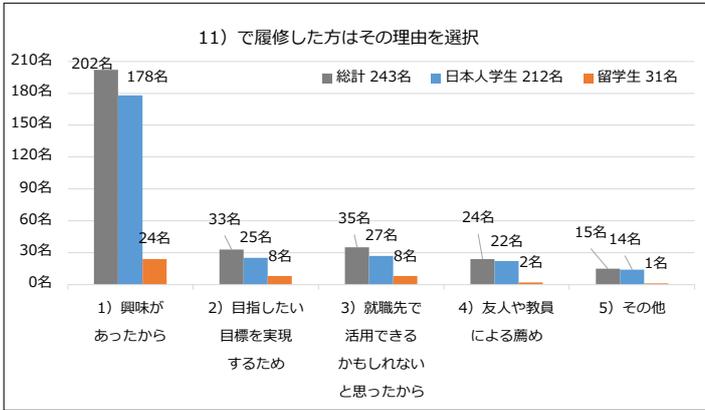
11) 選択したコースのカリキュラム以外（文系教養科目、キャリア科目を除く）で履修した専門科目やプログラムを選択してください。（複数回答可）



選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答した学生数	555	100%	509	100%	46	100%
1) 学んでいない	319名	57.48%	299名	58.74%	20名	43.48%
2) 他コースの専門科目	182名	32.79%	163名	32.02%	19名	41.30%
3) 副専門学修プログラム	10名	1.80%	8名	1.57%	2名	4.35%
4) 特別専門学修プログラム	26名	4.68%	21名	4.13%	5名	10.87%
5) 卓越大学院やリーダーシップ教育院のプログラム	30名	5.41%	27名	5.30%	3名	6.52%
6) その他	7名	1.26%	7名	1.38%	0名	0.00%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

12) 11)で履修した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）



選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答した学生数	243	100%	212	100%	31	100%
1) 興味があったから	202名	83.13%	178名	83.96%	24名	77.42%
2) 目指したい目標を実現するため	33名	13.58%	25名	11.79%	8名	25.81%
3) 就職先で活用できるかもしれないと思ったから	35名	14.40%	27名	12.74%	8名	25.81%
4) 友人や教員による薦め	24名	9.88%	22名	10.38%	2名	6.45%
5) その他	15名	6.17%	14名	6.60%	1名	3.23%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

13) 11)で履修した方は、将来、本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
強くそう思う	69名	29.11%	50名	25.77%	19名	44.19%
そう思う	129名	54.43%	110名	56.70%	19名	44.19%
そう思わない	13名	5.49%	10名	5.15%	3名	6.98%
全く思わない	4名	1.69%	4名	2.06%	0名	0.00%
どちらともいえない	22名	9.28%	20名	10.31%	2名	4.65%
回答者計	237名	100.00%	194名	100.00%	43名	100.00%

